

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 鎌ヶ谷市こども発達センター

公表日 令和7年3月18日

利用児童数 34人

回収数 30枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	1		1	壁が角になっている(柱の部分?)とこ ろがぶついたら危ないかな?と思いま した。	危険箇所を見逃してしまい、申し訳あり ません。施設内点検し、安全ガードを取 り付けました。お子さんが安全に過ごし ていくことができるよう定期的に点検を 実施します。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	4		3	活動によって先生が側につくのではな く、子ども同士で様子を見るところを見 るので大丈夫かなと思うことがありま す。	活動内容やねらいなど、職員の配置や対 応方法をその都度考えながら療育してい ます。これからも保護者の方とも共通認 識を持ちながらすすめてまいりますの で、気になることがありましたら相談く ださい。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	4					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	3		1	昨年度は床に髪やゴミが落ちていたこと が多く気になりましたが今年度は清潔 で過ごしやすいです。	昨年度は不快な思いをさせてしまい、申 し訳ありません。引き続き気持ちよく過 ごしていただけますよう対応していま す。	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	27	3					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	29			1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思 いますか。	28	1		1	・毎回、今、親が困っていることをうま く計画に取り入れてくれていると感じ る。その上で高望みではなく、子ども の現状に合わせた内容を組んでもらえ ていて、信頼してお任せできます。 ・子どものことをよく見ていて、皆様 で協議しながら計画、支援してくださ っているのがわかります。ありがとうございます。	今後も児童発達支援計画が保護者の方の ニーズと子どもたちの目標に反映され、 項目ごとに具体的な支援内容が設定で きるよう、一人一人に応じた作成を心が けます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1		1			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	26	3		1	アラートもあるので仕方ないと思いま すが水遊びの振り替えがあまりなかった のが残念でした。	今後も熱中症警戒アラートや光化学ス モッグ発令時は、プールや戸外での活動 を変更していきます。そのほかのプロ グラムとの調整をしながら、水遊びなど ならではの活動が提供できるよう心が けていきます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこども と活動する機会がありますか。	20	2	3	5	感染症での中止となったり、仕方ない と思いますが…別日でまた設定してい ただけならよかったなと思います。	交流保育につきましては、感染症予防 対策の観点で保育園の意向により中止 になる場合もあります。今年度も予備 日を設定してきましたが、やむなく両 日ともに中止になった保育園もあり ました。引き続き参加の機会が増える よう、交流する保育園とも相談して いきます。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	30						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29			1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	25	3		2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	28	2			変化が見られる度にフィードバックし てもらって発達の状態を理解しやすい です。	お子さんの少しの変化や成長を見つけ、 保護者の方とも共有していきます。ひき つづき、親子登園日・個別面談・電話・ 連絡帳などで伝えていきますので、ご 家庭での様子もお知らせいただける とうれしいです。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1			親の気持ちにもよりそってもらいながらアドバイスいただけて、悩んでいるときも先生方に相談した後はまた子育てがんばろうと思います。	今後も保護者の方とのびのびルームで話をする機会を持ち、お子さんにとってより良い支援ができるよう一緒に考えていきたいと思っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	5	2	4	子どもの生活リズムが不安定なため通所ができないときもあり、活動に参加できていません。	保護者勉強会や親子登園日、月の指導計画説明時に保護者同士で交流を持つ機会を作っています。活動に参加できることが増えるためにも、お子さんの生活リズムが整えられるよう、一緒に考えていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	3		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	3	1	10	ここに通所するまで、どういったところか分からず、パンフレットを見ても不安しかなかったため、HPやSNS等を入所していない子に向けて発信するのもしないなど思いました。	電話相談や見学時に、説明の仕方を工夫していきます。ホームページの内容につきましては、充実したものになるよう今後の検討課題にしていきたいです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29				1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	2		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	2		3	・参加できていないためどちらともいえない。 ・避難訓練の様子をよく話してくれま す。親子登園日ではない日が多いので登園日にも設定してもらえたらと思います。	非常時などの対応につきましては、マニュアルに基づき様々な発生を想定した訓練を実施しております。分離グループの親子登園日にも実施していくよう、日程調整をしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	3	1	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	2		2	・通所の前日は一緒に準備をしりとでも楽しそうにしています。 ・毎朝、活動のことや給食を確認してからバスに乗ります。	毎日通所を楽しみにしていること、大変うれしく思います。子どもたちが笑顔で元気に通所できるよう、今後も職員と保護者で協力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1		1	・いつも先生方のやさしい声かけで大変救われています。いつもありがとうございます。 ・親子ともにもいつも丁寧にサポートしていただけて本当に感謝しています。ありがとうございます！！	日頃より、のびのびルームの運営にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。今後も支援させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	鎌ヶ谷市こども発達センター		公表日 令和7年3月18日				
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	1	4		・親子活動日の日のみ、狭く感じる。 ・親子活動日にて担任も入ると密に思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	24		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	7	1		・今ある環境の中では、工夫していると思いますが、もう少し収納スペースがあるとよいと思います。 ・設備の老朽化があり、使用しにくい。 ・バリアフリー化は必要だが、現時点では必要がないと思う。 ・施設が老朽化している。十分にバリアフリー化された施設ではない。 ・トイレ等のバリアフリー化はできていない。(車椅子では、使用できない。) ・消臭剤を置いているが、トイレのにおいが気になる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	21	3	2		・老朽化により心地よくない部分が多い。 ・清掃し、清潔を心がけているが、子どもの水道やトイレ等設備が古く、使いづらい。 ・壁紙が破れていたり、汚れがある。網戸の破れもある。水道の蛇口の壁が崩したままで、見栄えが悪い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22		4		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22		4	・個別支援会議やセラピスト会議他カンファレンスを療育後に設定している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21		5	・子育てサポート加算表やモニタリング表を共有しながら、意向確認をしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	2	4	・クラス打合せを週1回程度作ったり、児発管と適時面談を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	7	9		・第三者評価を実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22		4		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23		3		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	23		3		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23		3		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23		3		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18		8		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21		5		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20		6		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21		5		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22		4		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22		4		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22		4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22		4		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22		4		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22		4		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20		6		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19		7		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22		4		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	3	9		・地域の他の事業所と、情報共有や顔を合わせる機会があるとよいと思う。 ・連携するには至っていない。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	17		9		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	2	13		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	18		・市内に児童発達支援センターが2つあるので、横のつながりがあるとよいと思う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23	2	1	・年長児と年中児を対象に交流保育を実施している。	・コロナ禍になってからは、交流を避けているように思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	25		1		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20		6			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20		6			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	21		5		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23		3		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22		4		・毎日通園児は週1回程度、週1日通園児は3か月に1回程度、親子活動日を設定している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	2	4		・今年度2クラス合同の行事や全クラス登園して行事を開催することができた。 ・役員の方たちは、交流ができていると思う。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22		4		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	19	2	5		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25		1		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25		1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	11	7		・コロナ禍のため、現在も控えている。 ・コロナ禍前は、卒園式などの行事に招いていた。感染症対策の兼ね合いで、検討しているが、良いと思う。 ・コロナが禍以降、地域住民を招待していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	25		1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	24		2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	25		1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25		1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24		2		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	22		4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24		2		・毎日朝の打ち合わせで発信し、記録も残している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	24		2		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	1	5			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鎌ヶ谷市こども発達センター		
○保護者評価実施期間	令和6年9月30日		～ 令和6年10月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和6年9月10日		～ 令和6年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 26名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数でのグループ編成で、担任制での療育を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には、年間変わらず同年齢児中心にグループ編成している。 担任だけでなく、多職種の職員が直接療育に加わり支援している。 個別指導や保護者との個別面談を定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事など他のグループと合同する場面で、お子さんの力が発揮できるような機会を作る。 感染症予防対策で制限していた活動を再開し、内容の充実を図る。 季節ならではの遊びができる期間を多く持てるように、設定を工夫していく。
2	3歳児以上のお子さんは、週5日続けて利用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日続けて通園することで、療育の積み重ねをし、お子さんの成長を促している。 3歳未満児は体調も考慮して週2日通園とし、定期的に通いながら生活リズムを整えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日楽しみに通園できるよう、保護者と連携をとっていく。
3	保護者が療育に参加する機会が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 親子登園日で療育と一緒に参加してもらうことにより、お子さんの成長や課題を確認をしたり、保護者の悩みに寄り添い、お子さんの関わり方を知らせている。 療育参観では、お子さんの様子を客観的に見ることが出来る。 必要に応じまたは保護者の要望を受け、担任だけでなく、多職種とも個別面談や相談をすることができる。 子育てやお子さんの発達について、いろいろな情報を得る機会が多くある。また同じ悩みを持つ保護者同士の情報交換の機会を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者とお子さんの成長や課題を共有し、療育を行っている。 懇談会や勉強会のテーマについて、保護者の関心のあることは何か、聞き取りをする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が療育に参加する機会が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 就労しながら利用している保護者が増えている。その中、参加できるように調整をさせていただいているが、難しい状況の方もいる。 保護者の方に参加していただきたい親子活動や懇談会、勉強会などが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が可能な時間に電話対応をしたり、参観や面談(のびのびルーム以外での場所での実施やzoomなども取り入れる)を行う。 それぞれの家庭の事情に合わせて、負担にならないよう到来園できた日にいろいろな家族支援が出来るようにしていく。
2	地域との交流が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 市の中心部から離れていることから、交流が難しい。 感染症予防対策の観点により、遠足などの園外活動を控えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共の交通機関や施設を利用するなど、グループごとのニーズに合わせ地域資源を活用した活動や園外活動を取り入れていく。 年長児と年中児の希望対象の交流保育を続け、地域もこどもとの交流を持つ。
3			